

## 拝島駅前自治会創立 60 周年を祝して

警視庁昭島警察署長 勝又泉

拝島駅前自治会が創立 60 周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴会が「上拝島町会」として発足した昭和 25 年当時は、昭島警察署としては、昭和 23 年 3 月 7 日に立川警察署から独立した昭和町警察署時代でありました。当時の時代背景を考えますと、昭和 28 年 1 月 1 日昭島警察署の前身であります昭和地区警察署初代平畑一雄署長の就任、昭和 28 年 4 月 1 日昭島交通安全協会の発足、昭和 29 年 7 月 1 日昭島防犯協会の発足とともに大変歓迎すべき慶事であったと拝察されます。爾来、地域の発展と昭島市の安全・安心な街づくりに 60 年間様々な形で貢献され、さらには現在、貴会が行っている学童パトロールや青色防犯パトロール等の防犯活動に協力いただいていることに対し、心より敬意を表したいと思います。

さて、平成 21 年の犯罪発生状況を振り返りますと、都内では殆どの指定重点犯罪が減少する中、経済不況を反映して「振り込め詐欺」「ひったくり」「コンビニ強盗」など、すぐに現金が入手できる犯罪が多発した一年でありました。こうした情勢から、警視庁では、平成 21 年 2 月・10 月に「振り込め詐欺撲滅月間」、5 月・6 月には「ひったくり緊急対策」を実施し、また、3 月・10 月には毎年恒例の「地域安全運動」等を通じて、検挙・防犯の両面で各種取組みを強化してまいりました。

貴会は、こうした各種月間での街頭キャンペーンをはじめ、市内で行われた催し物等、様々な機会を通じて防犯広報をしていただき、市民の防犯意識の高揚と被害防止に大きな貢献をされました。

さらに、平成 21 年 10 月 4 日に開催しました「昭島地域安全のつどい」に際しましては、貴会をはじめ各自治会の皆様のご尽力によりまして、会場の市民会館大ホールがほぼ満員になるほどの市民の参加をいただき、大成功のうちに終了することができました。

このように、平成 21 年は多忙な一年でありましたが、各自治会活動によりまして、管内の刑法犯の認知件数を大幅に減少させることができましたし、社会的問題となっている「振り込め詐欺」や「ひったくり」といった犯罪につきましても、当署管内については、前年同期比で大きく減少させるといった成果が出ております。

これも、ひとえに貴会をはじめ各自治会の絶え間ない活動のおかげと、心から感謝申し上げます。

加えて、平成 21 年 11 月には警視庁の総力を挙げて取り組みました「米国オバマ大統領来日警備」に際しましても大きなご支援をいただき、無事完遂することができました。この警備につきましても、改めて感謝を申し上げたいと思います。

さて、警視庁では、平成 22 年も犯罪抑止総合対策を最重点課題といたしまして、「安全・安心な街、東京」の実現に向け、「検挙」と「防犯」の両面から組織の総力を挙げて取り組んでまいります。

昭島市での「防犯」に関する取り組みは、昭島防犯協会、拝島駅前自治会をはじめ各自治会、防犯ボランティアの皆様、各種事業者、そして昭島市等の行政機関が三位一体となって盛り上がりを見せ、成果を挙げておりますことから、私どもにとりまして誠に心強い限りでございます。

昭島警察署と致しましても、市民の皆様が安心して暮らせる街を作るべく、これからも犯罪抑止に向けた様々な対策を署員が一丸となって推進してまいりたいと考えておりますので、今後も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、安全・安心で住みよい街であり続けるために、地域に密着した伝統ある自治会の役割は大変重要でありますので、貴会の益々のご活躍と、ご隆盛を祈念しております。